

# にらめっこ

発行責任者 廣瀬邦治 印西市木下東4-6-13  
TEL/FAX 0476-42-5034 E-メール k\_hirose839@ybb.ne.jp



イラスト画 江里奈

## とめよう！ 違憲の戦争法案



「許せません」各地で抗議

広がる怒り

安倍政権、自民・公明与党は、国民多数が憲法違反と反対する戦争法案を、7月15日に衆院安保法制特別委員会で、翌16日に衆院本会議で採決を強行。「安倍政治を許さない」との怒りの声が一段と広がりました。15日夜、国会周辺には若者から高齢者まで人々が続々押しよせ6万人の人波で身動きできないほどに。

共同を広げ 必ず廃案に！



安倍内閣の支持が急落しており、国民の怒りが安倍政権を追いつめつつあります。

戦争法案反対、9条を守れ、民主主義、立憲主義を守れ、国民の運動が空前の広がりを見せています。

## 東京基督教大学（印西市内野）教職員有志 「安全保障関連法案に反対する声明」を発表

### 安全保障関連法案に反対する声明(大要)

私たちは、キリスト者の大学人として、本学の沿革と教育をふまえて安全保障関連法案に反対します。

去る7月15日、安全保障関連法案が衆議院の特別委員会において与党単独で採決され、翌日には本会議で野党欠席のまま採決、参議院での審議に付されました。この法案は、憲法9条の解釈の限度を超えて集団的自衛権の行使に道を開くもので、戦後日本の国是を変える重大なものです。とりわけ集団的自衛権の行使は憲法に違反するものです。安全保障関連11法案とこの間の議論は精緻な検討を欠くもので、「憲法を尊重し擁護する義務」に反しています。

もとより国務大臣、国会議員は、憲法を尊重し擁護する義務を負っています。憲法違反は国民への背信行為であり、為政者として分を超えて立憲民主主義を破壊する行為です。

今回の衆議院における審議では、6月4日の衆院憲法調査会において、与党推薦を含む3人の憲法学者全員が法案の違憲性を指摘しました。「安保関連法案に反対する憲法研究者」(呼びかけ人38人+賛同人197人、7月10日現在)も強い反対意見を述べています。また、22日には衆院特別委員会で参考人として意見陳述した内閣法制局長官経験者が法案の違憲性と危険性を指摘しました。

全国で少なくとも331の地方議会が本法案への意見書(反対144、賛成6、慎重審議を要望する181)を可決しています(7月9日『朝日新聞』)。「安全保障法案に反対する学者の会」(12,583人、7月30日現在)などのほか、映画監督・俳優ら(436人、7月16日現在)、「いのちと平和を脅かす安全保障関連法に反対する医療・介護・福祉関係者の会」(4,345人、7月30日現在)、「戦争法案に反対する宗教者の会」、「環境NGO 共同声明(安保法反対)223団体、7月28日」など各界からの反対が相次いでいます。世論調査では、共同通信の6月20、21日調査で法案に「賛成」が27.8%、「反対」58.7%。共同通信では「十分に説明しているとは思わない」が84.0%、読売新聞は「十分に説明していると思いますか」と聞き、「そうは思わない」が80%で軒並み8割を超える結果でした。審議が進むにつれてその割合が増えたのは、説明するほど理解されなくなったということです。7月15日にはSEALDs(自由と民主主義のための学生緊急行動)の呼びかけで6万人が国会前で抗議行動を行い、24日には日比谷公園と国会前で7万人が抗議のデモをしています。このようなごく普通の老若男女が自主的に整然と行う反対運動は全国で継続され広がり続けています。

戦後日本の原点は、軍国主義から民主主義と平和主義への決定的転換でした。憲法9条は、第二次世界大戦の惨禍をくぐりぬけた世界に人類史的な反省として結実したものです。「剣を取る者はみな剣で滅びます」(マタイの福音書26章52節) 旧約聖書の預言者イザヤは預言しています。「彼らはその剣を鋤に、その槍をかまに打ち直し、国は国に向かって剣を上げず、二度と戦いのことを習わない」(イザヤ書2章4節)

私たちは、恒久的な平和は武力によってはもたらされないと考えます。後方支援の名の下に戦争に加担して殺戮の連鎖に加わってはいけません。いたずらに危機感を煽るのではなく、冷静な対話を貫く外交こそ最強の抑止力です。

日本国憲法 第10章「最高法規」97条「この憲法が日本国民に保障する基本的人権は、人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果であって、これらの権利は、過去幾多の試練に堪へ、現在及び将来の国民に対し、侵すことのできない永久の権利として信託されたものである」。戦後70年を迎える今、立憲民主主義を放棄するようなことがあってはなりません。為政者が憲法を尊重し擁護することを強く希望します。

2015年7月31日

東京基督教大学教職員有志

(呼びかけ人) 廣瀬薫、伊藤天雄、小林高德、山口陽一、大和昌平(アルファベット順)

(賛同者) 教職員・役員27名(7月31日現在)

- 印西・九条の会は、7月17日、板倉市長に『緊急申入れ』を行いました。

### 憲法9条破壊の戦争法案である「安全保障関連法案」の撤回・廃案を求める緊急申入れ

2015年7月17日 印西・九条の会事務局長 廣瀬邦治

印西市長 板倉正直様

**【申入れ事項】** 憲法を守り非核平和都市を宣言している印西市として、安倍総理大臣に対し、「安全保障関連法案」の衆議院強行採決に抗議し、本法案の撤回・廃案を求めることを要請します。

**【市長回答】** 本法案についても他の法案と同様、十分に議論していただくべきものであると考えます。印西市としては、非核平和都市宣言の精神にのっとり、核兵器の廃絶及び恒久平和の実現のため、今後とも各種施策を通じて、平和の尊さの周知に努めます。 2015年7月29日

# 忘れ得ぬ東京大空襲

## 紅蓮の炎の戦い（その二）

渋谷 ヨシ

私は、出した米びつと兄の写真を金魚池の側に置いて、今度は物置に駆け込み、自転車を出して、もぐらないようにタイヤを水につけた。私の家の裏は、佐々木金魚問屋の広い池が、いくつも畦を作って金魚を飼っていた。

叔父の家は、運送業だったので、再び物置に駆け込み、日頃は手にしないリヤカーを出して、今度は池の側に立てかけた。私は、もう一度二階へ上って本や荷物を出したかった。だがその時は、上空に高射砲の音、音、音。風は大きくなり、火の勢いはもの凄く、再び二階に上がる勇氣は出なかった。しかし、三月九日の朝、私のすぐ前に住んでいた石井さんが、岐阜へ用事が出来て、家を留守にしたのだ。『鍵はかけないでゆくから、貴女も気をつけてな』と別れた時の言葉を思い出し、日頃お世話になっていたのも、私は何か一つでも出してあげようと、その家に駆け込み、すぐ釜が目に入ったので、釜と蓋を持ち出し、池の側に置いた。

私はここまでが精一杯だった。火は隣の奥田さんの家に燃え移り、風は烈風にかわり、燃ゆ炎と共に轟々と物凄い音を立てながら、渦を巻き、夜空を不気味なほど真赤に染め、辺り一面全く恐ろしい光景となってしまった。私は、逃げ場がないので、金魚池の畦に何人かで逃げた。ところが、そこへも火の粉どころか、柱が燃えながら飛んで来たり、崩れた火の粉が防空頭巾に落ちたり、焼けはがれたトタンまで飛んでくる有様だ。振り払うために体を動かせば、細い畦なので、池の中に落ちそうになったり、ここも駄目だと今度は三月四日の空襲の焼け跡に逃げようと、畦に立った。しかし、風が強くて歩けず、這うようにして焼け跡に逃げた。だが、この焼け跡にも回りの燃ゆる無数の火の粉が飛んで来るので、私は二階より放り投げた布団を、這うようにして取りに行き、焼け跡に運んだ。そして、その布団を池の水に濡らし、その下にもぐった。布団に火の粉が落ちると皆で助け合いつつ火の粉から逃れていた。

私は池の水に助けられている時、佐々木金魚屋さんの家は猛火に包まれていった。私は濡れた布団の中から叔父の家を見た。火は勢いよく二階に燃え移り、炎が窓から噴き出して真赤に燃えながら、棟が崩れていった。耐火材を使ってあるから、火に負けないといった叔父の顔が浮かんだ。だが、この大空襲にはひとたまりもなく燃え尽くし、三月十日の朝、未明、今まで働いていた叔父の家は、全て、灰塵と化してしまったのである。

私は泣くに泣けなかった。小学校を終えた私を、籍は入れず養女にしようと、七年間を学校に通わせてくれたからである。叔父に恩を返さなければと、私は必至に暮らしていた。叔父の家が焼け落ちる頃、池の向こう側を黒煙と紅蓮の炎が、悪魔の如く燃え上がり燃え広がり、池の上もまだまだ烈風に火の粉が飛んでいた。全く地獄そのものを見る光景であり言葉には言い尽くせない三月の十日だった。

\* 渋谷ヨシ様は、去る6月30日、93歳で天寿を全うされました。心よりご冥福をお祈りいたします。

# ～ 草の根から共同を広げ 戦争法案を廃案に ～

## ●とめよう！戦争法案 宣伝・署名行動

- ▼日時 : ①8月9日(日)午後3時～ ②8月22日(土)午後3時～  
▼場所 : 千葉ニュータウン イオン前

## ●憲法9条と「安保法案」を考える市民のつどい

- ▼日時 : 8月29日(土) 午後2時～4時  
▼場所 : 中央駅前地域交流館 2号館 会議室5  
▼自由参加です。みなさん こそってご参加を！

- ▼請願署名を集め、国民・市民の声を国会に集中しましょう。  
署名用紙は、九条の会のホームページ <https://www.9-jo.jp/> から入手できます。
- ▼戦争法案を廃案にするよう、電話・ファックス・メールなど、あらゆる方法で国会議員に訴えましょう。
- ▼地方議会や首長から政府と国会に続々と意見書があがっています。  
印西市議会からも意見書をあげるよう、請願を出していきましょう。
- ▼「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動」に参加しましょう。  
①毎週木曜日：8月6日(木)、13日(木)、20日(木)、27日(木)  
18:30～ 戦争法案反対国会前集会  
②8月30日(日) 14:00～ 国会包囲行動  
⇒ 11時50分千葉ニュータウン中央駅改札集合。  
みんなで一緒に12時03分の電車で行きましょう。

### ●印西・九条の会代表 彦坂諦さんからのメッセージ

ひといちばいつよいおもいで、わたしは、戦争関連法案を国会で廃止においこみ、安倍政権を崩壊させたいとのぞんでいます。  
わたしは、わたしにできることを、可能なかぎりのがさずに、ひとつひとつやっていくつもりです。  
みなさん、ひとりひとりが、創意工夫をこらして、戦争法案廃絶という共通の課題にとりくみましょう。



### 編集後記

▼「九条の会」の呼びかけ人の一人である哲学者・評論家の鶴見俊輔さんが7月20日、肺炎のため亡くなりました。93歳でした。



▼鶴見さんは、65年には作家の小田実さんらと「ベトナムに平和を！市民連合(ベ平連)」を結成しました。2004年に評論家の加藤周一さん、作家の井上ひさしさん、大江健三郎さんらと「九条の会」を設立、9条を守る運動の先駆けとなりました。

▼九条の会事務局長の小森陽一さんによると、鶴見さんは運動の折々に、病床から代筆によるメッセージを寄せていたそうです。「遺志をしつかり受け継ぎ、戦争法案の廃案に向けた取り組みを強めたい。」